

【目次】

- 《基本目標 1》 地域経済循環を拡大しての雇用の創出・・・1ページ～
- 《基本目標 2》 地域資源の価値を再認識しての地域所得の向上・・・5ページ～
- 《基本目標 3》 都市通勤圏にある自然豊かな地域性を生かしての人口減対策・・・9ページ～
- 《基本目標 4》 豊かな自然環境、子育て支援の充実を発信しての地域の魅力の向上・・・12ページ～

【進捗状況】

《基本目標 1》地域経済循環を拡大しての雇用の創出

数値目標

新規農業従事者数：平成31年度累計10人（平成24～26年度 平均2人）

平成27年度	7人	平成28年度	8人	平成29年度	11人	平成30年度	13人	平成31年度	6人	累計	45人
--------	----	--------	----	--------	-----	--------	-----	--------	----	----	-----

新規漁業従事者数：平成31年度累計15人（平成24～26年度 平均 2人）

平成27年度	2人	平成28年度	2人	平成29年度	1人	平成30年度	2人	平成31年度	2人	累計	9人
--------	----	--------	----	--------	----	--------	----	--------	----	----	----

新規雇用創出数：平成31年度累計80人（平成26年度 実績5人）

平成27年度	7人	平成28年度	0人	平成29年度	1人	平成30年度	6人	平成31年度	4人	累計	18人
--------	----	--------	----	--------	----	--------	----	--------	----	----	-----

※創業件数 平成27年度 8件 平成28年度 7件 平成29年度 9件 平成30年度 9件 平成31年度 20件（雇用創出数は親族以外の人数を計上）

《具体的な施策と重要業績評価指標（K P I）》

(1) 農業及び漁業の振興

具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値	進捗管理					主な取組概要	担当課	
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			累計
<新規農業従事者の確保> ・農業経営を継承する後継者や新たに農業を始める新規就農者への支援	・相談件数5件	重要業績評価指標 (K P I)	累計相談件数 25件 (平成31年度)					水産商工課で実施した就農・移住者向けツアー、農業講演会、おためし農業等の開催や農業事務所と連携した新規就農希望者の就農相談を行った。	農林課	
		実績値 (単位：件)	9	19	22	19	10			79
具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値	進捗管理					主な取組概要	担当課	
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			累計
<新規漁業従事者の確保> ・漁業経営を継承する後継者や新たに漁業を始める新規就漁者への支援	—	重要業績評価指標 (K P I)	累計相談件数 25件 (平成31年度)					千葉県実施による新規漁業者確保定着支援事業を通じ、新規で夷隅東部漁協所属漁船への就漁希望者相談を実施	水産商工課	
		実績値 (単位：件)	8	15	1	7	3			34
具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値	進捗管理					主な取組概要	担当課	
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			累計
<未来の農家・漁師の育成> ・小中学校での農業・漁業体験教室の開催	(農業体験教室) — (漁業体験教室) ・開催数4回 ・参加生徒数42人	重要業績評価指標 (K P I)	農業・漁業体験教室 ・開催数各5回 ・参加生徒数各45人 (各年度)					【農林課】 夷隅小学校（旧中川小学校、旧国吉小学校）の生徒35人を対象に24回、有機米づくりや生きもの調査等の教育ファームを行った。 【水産商工課】 魚貝類の種苗生産や中間育成等の学習や実習・体験により、漁業に対する知識や認識を深め漁業後継者の育成に努めることを目的に、①地元干物加工業者で干物加工体験学習、地元の海の歴史学習②未利用魚を活用したご当地グルメ、じゃあじあつくり③大原漁港でイセエビ漁等体験学習④いすみ市食生活改善協議会による魚貝類の魚食普及学習の計4回を開催	農林課 水産商工課	
		実績値	(農業体験教室)							/
			開催数(回)	—	30	13	24			
			参加者数(人)	—	12	44	28			35
			(漁業体験教室)							/
		開催数(回)	4	4	4	4	4			
参加者数(人)	43	41	37	29	23					

(2) 事業拡大・新規創業支援

具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値	進捗管理						主な取組概要	担当課	
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	累計			
<創業支援の強化> ・産業競争力強化法に基づく「創業支援事業計画」に沿い、いすみ市産学金官地域ラウンドテーブルを開催し、起業・創業を促進	—	重要業績評価指標 (K P I)	・開催数4回 ・創業支援者数66件 ・創業者数10件 (各年度)						・平成27年10月に国の認定を受けた「創業支援事業計画」を、平成32年3月31日まで延長し、地域経済の活性化を図り、市内での創業・起業を促進することを目的とし、平成27年度から創業セミナーを実施。 ・いすみ市商工会の協力及び連携により、平成27年度から創業塾を全6回の日程で実施。 ・いすみ市産学金官地域ラウンドテーブルを年2回開催し、いすみ市商工会、地域金融機関、千葉大学等と連携を図り新規創業者の支援や、事業者における新たな雇用の創出に取り組んでいる。	水産商工課	
		実績値	開催数(回)	2	3	3	2	2			
			創業支援者数(人)	37	45	47	53	42			
			創業者数(件)	8	7	9	9	20			
具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値	進捗管理						主な取組概要	担当課	
<クラウドファンディングを活用した新規事業の創出、事業の拡大> ・いすみ市産学金官地域ラウンドテーブルを活用し、クラウドファンディングによる創業・事業拡大を支援	—	重要業績評価指標 (K P I)	ファンド組成 2件 (各年度)						・市ではクラウドファンディング活用支援事業補助金(投資型)・クラウドファンディング利用手数料助成事業補助金(寄付型・購入型)の補助金交付要綱を定め、クラウドファンディングの手法により資金を調達し、新たな事業展開を実施する者へ支援する仕組みを構築。	水産商工課	
		実績値 (単位:件)	0	1	0	2	0				
具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値	進捗管理						主な取組概要	担当課	
<新規学卒者の確保> ・COC+で大学と連携して雇用を創出	—	重要業績評価指標 (K P I)	新規学卒者の雇用創出数累計 34人 (平成31年度)						・地(知)の拠点大学における地方創生推進事業(COC+)は平成27年度より始動した文科省のプロジェクト。千葉県の人口減少エリアに若者が将来的に働きながら、住み続けられるような仕組みを構築するため、大学教育及び地元行政、民間企業と共に事業を実施。千葉大学は、いすみ市を重点地域とし、ハブオフィスを構え、地域コーディネーターが週3日程度勤務。平成29年度には、大原商店街の既存建物の一角を改修し地域で活動する拠点の場とし、若者がいる商店街、多様な世代の交流場所、そして新たなビジネスを生み出す場、地域解決策や自らのスキルを活かし創業へのトライアル実践の場として活用できる取組を行っている。 ・市では、千葉大学、早稲田大学、武蔵野美術大学、千葉工業大学、跡見学園女子大学と域学連携事業の協定を結び、市内各所で学生提案プロジェクトを実施、展開している。	水産商工課	
		実績値 (単位:人)	—	0	0	0	0	0			

具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値	進捗管理					主な取組概要	担当課
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
<企業育成と雇用促進> ・地域経済の活性化と雇用の創出を図るため、一定要件の事業者に立地奨励金、雇用促進奨励金を交付	立地奨励金、雇用促進奨励金累計交付件数1件 (過去5年間)	重要業績評価指標 (K P I)	2件 (平成31年度)					いすみ市における企業の育成を図り産業の振興と雇用の促進を図るため、対象事業者の事業開始にともない、新たに1年以上引き続きいて本市に住所を有する者を常用雇用した事業者に対し交付する雇用促進奨励金(1回限り)、対象事業者の固定資産税相当額を限度として交付する立地奨励金(5年間)を交付し奨励措置を講ずる。	企画政策課
		実績値 (単位:件)	1 (立地奨励金)	1 (立地奨励金)	1 (立地奨励金)	1 (立地奨励金)	2 (雇用促進奨励金・立地奨励金)		
具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値	進捗管理					主な取組概要	担当課
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
<中小企業への支援> ・中小企業の設備資金に係る利子補給を実施	設備資金利子補給金累計交付件数126件	重要業績評価指標 (K P I)	700件 (平成31年度)					市内に店舗、工場、事務所を有する会社及び個人に対して予算の範囲内で利子補給金を交付し、中小企業の振興を図る。	水産商工課
		実績値 (単位:件)	114	118	116	122	117		

《基本目標2》地域資源の価値を再認識しての地域所得の向上

数値目標

農業所得（販売金額）：平成31年 21億3千万円（平成26年実績20億8千万円）

平成27年 22億2千万円 平成28年 24億0千万円 平成29年 24億9千万円 平成30年 19億6千万円 平成31年 19億6千万円

いすみブランド産品水揚金額：平成31年度 2億4千万円（平成24～26年度 平均2億円（タコ含む2億7千万円））

（アワビ、サザエ、イセエビ） 平成27年度 1億6千万円（タコ含む3億円） 平成28年度 2億1千万円（タコ含む2億3千万円） 平成29年度 2億8千万円（タコ含む4億3千万円）

平成30年度 1億6千万円（タコ含む2億7千万円） 平成31年度 1億2千万円（タコ含む 2億2千万円）

観光入込客数：平成31年度 60万人（平成25年度31.2万人）

平成27年度 40万人 平成28年度 38.3万人 平成29年度 41万人 平成30年度 45万人 平成31年度 47万人

《具体的な施策と重要業績評価指標（KPI）》

(1) 農水産物のブランド化

具体的な施策	基準値 (平成26年度)	KPI・実績値	進捗管理					主な取組概要	担当課
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
<いすみブランドの認定> ・いすみ市代表する農水産物等のブランド化を図り、付加価値を高めた上で販路拡大を図り、生産者の所得向上と地産地消により産業を育成	—	重要業績評価指標 (KPI)	ブランド化品目数 15品目 (平成31年度)					農水産物の価値や生産者の所得の向上を図るため、農水産業者と連携を図り現在取り組んでいる「魚の活け締め」や「天日干しのお米」を更に付加価値をつけるべく研究や有識者からの講義や研修を得てブランド商品になるべく技術の向上に取り組み、親交のある料理人等に活用していただきPRすることで販路の拡大を図る。31年度は新たに味噌「孫ころ」(まこころ)がブランド認定された。	水産商工課
		実績値 (単位：品目)	12	8	2	0	1		
具体的な施策	基準値 (平成26年度)	KPI・実績値	進捗管理					主な取組概要	担当課
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
<特産品の開発> ・地域の食材等を積極的に使用し食を活かした新たな観光の推進	波の伊八めし加盟店舗数 19件	重要業績評価指標 (KPI)	・波の伊八めし加盟店舗数 25件 (平成31年度) ・有害鳥獣を活用した商品開発 1件 (平成31年度)					【水産商工課】 伊八めし加盟店、波の伊八彫刻所有寺院相互でチラシを共有するなど連携したPR活動を実施。 【農林課】 有害鳥獣キョンの皮を加工し印伝を開発。また、講演会、ワークショップ、狩猟ツアー等を実施している。	水産商工課 農林課
		実績値	加盟店舗数 (件)	17	17	17	17		
			商品開発 (件)	—	1	1	0	0	

具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値	進捗管理					主な取組概要	担当課	
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			累計
<有機米産地への推進> ・消費者のニーズに即した安心、安全な農作物の提供による生産者の所得向上	・農家数 3件 ・作付面積 1.1ha	重要業績評価指標 (K P I)	・農家数 30件 (平成31年度) ・作付面積 30ha (平成31年度)					学校給食全量有機米使用や国際会議ICEBA等を通じて、産物や産地のPRを実施した結果、有機米の販路開拓に成功し、販売数量が増加、それに伴い生産量が拡大した。	農林課	
		実績値	農家数(件)	10	15	23	24			25
			作付面積(ha)	4.5	8.7	13.8	17.1	23		

(2) 港の朝市の定着と拡大

具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値	進捗管理					主な取組概要	担当課	
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			累計
<港の朝市の定着と拡大> ・朝市と連動した体験型観光の開発(エコツアー等) ・市外でのイベントでの「港の朝市」、いすみブランドのPR ・JRと連携しての大原駅から朝市会場までのバス運行、旅行会社と連携しての都市圏からの直行バスの運行等による観光客の利便性増進	・来場者数 3,500人/回 ・年間売上 6,500万円	重要業績評価指標 (K P I)	・来場者数 7,000人/回 (平成31年度) ・年間売上 10,000万円 (平成31年度)					港の朝市への新規来場者及びリピーター確保のため、夏季観光シーズン及び冬季観光オフシーズンに旬の産品を活用したイベントをそれぞれ2ヵ月間実施した他、午後開催の夕市などの企画を実施。港の朝市の定着と拡大を図った。その他、出張港の朝市として都内商店街での朝市商品販売及び宣伝活動を行い、港の朝市への集客を図っている。	水産商工課	
		実績値	来場者数(人/回)	3000 (月2回開催・年間28回)	2000 (毎週日曜日開催・年間計54回)	2000 (毎週日曜日開催・年間計61回)	2500 (毎週日曜日開催・年間計54回)			2500 (毎週日曜日開催・年間計31回) 4月～12月
			年間売上(万円)	7,800	9,700	9,900	10,600	8,700		

(3) 交流人口の増加

具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値	進捗管理					主な取組概要	担当課		
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			累計	
<旅行商品の開発> ・ JR及びいすみ鉄道との連携 ・ JAF等と連携した着地型観光の推進 ・ 地域での二次交通を活かした観光モデルコースの設定 ・ 市内の文化財を活用した文化財めぐり ※各コース等について、Wi-Fi環境の整備、多言語表示看板の設置やパンフレットの作成等、受け入れ態勢の充実を図る方策を検討する。	旅行企画商品 1企画	重要業績評価指標 (K P I)	・ 累計5企画 (平成31年) ・ 累計参加者数300人 (平成31年度) ・ 多言語パンフレットの作成4か国語 (平成27年度)					・ ふるさと旅行事業と称し、市への旅行を企画する旅行事業者に対し、当該旅行の実施に要する経費の一部を助成する事業を実施している。平成29年度から、J R東日本企画千葉支店との連携により、二次交通として乗り合い観光タクシーの利用を設定のうえ、地魚を提供する昼食といすみ鉄道の利用、及び市内の文化財巡りを共通の内容とし、港の朝市へ誘導する日曜日限定の朝市コースと日曜日以外の里山コースの2コースを設定。平成30年度は111名の利用があった。 ・ 上記事業のほか、観光客誘致を目的として、条件（市内の観光施設等に3箇所以上利用）を満たしたうえで、市外からのバスツアーを企画した事業者に対して補助を実施している。（1台あたり日帰りバスツアー30,000円、宿泊を伴う場合は50,000円）平成29年度と同様に平成30年度も日帰りツアーのみであったが、バス50台、1,778名の利用があった。 (31年度（令和元年度）12月16日現在申請状況 バス53台、2,133名) ・ 観光客受け入れ態勢の充実を図るため、平成28年度に市内公共施設を対象として計22箇所無料グループWi-Fiを整備、さらに平成29年度は、市内民間宿泊施設3箇所、平成30年度は市内公共施設1箇所に整備した。	オリンピック ・観光課		
		実績値	旅行企画商品JR等 (企画)	3	3	6	10			11	33
		参加者数 (人)	1143	621	2290	1889	2133			8076	
		多言語パンフレット	4か国語作成								
具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値	進捗管理					主な取組概要	担当課		
<観光型二次交通助成> ・ 観光タクシー利用助成 ・ 市内タクシー事業者との連携による観光タクシーの商品開発や観光コースの設定	—	重要業績評価指標 (K P I)	・ 【観光タクシー】利用件数 650件 (平成27年度) ・ 【市内タクシー事業者との連携による観光タクシーの商品開発や観光コースの設定】累計実施事業者 1事業者 (平成31年度)					・ 上記ふるさと旅行事業の実施により、二次交通としての観光タクシーの利用を組み込み、モデルコースとなる観光コースの設定をしているものの、市内タクシー事業者による観光タクシーの商品開発には至っていない。	オリンピック ・観光課		
		実績値	利用件数 (件)	55 (88人)							
		実施事業者 (件)	0	0	0	0	0			0	

具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値	進捗管理					主な取組概要	担当課
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
〈問合せ窓口のワンストップ化〉 ・観光協会の観光プラットフォーム機能等の充実	体験プログラム・特産品等取扱い 40件	重要業績評価指標 (K P I)	体験プログラム・特産品等取扱い 80件					いすみ市に訪いただいたお客様にいすみの夏の特産品を「見て」「手にして」「食して」いただけるように、アジ釣り体験、摘み取り体験、そば打ち体験などの体験交流イベントを実施。H29年度より「港の朝市」においてイセエビ漁解禁に合わせて「イセエビ漁ウォッチング」が新たに実施された。	水産商工課
		実績値 (単位：件)	11	10	13	16	14		
具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値	進捗管理					主な取組概要	担当課
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
〈情報発信拠点の整備〉 ・観光情報の発信や農作物の直売等を行う施設の整備	—	重要業績評価指標 (K P I)	「(仮称)いすみ里の駅」の検討 (平成31年度まで)					市内製品の販売及び情報発信拠点等の役割を果たすため、里の駅の整備検討を実施。候補地選定や規模確定のための基礎調査を実施したほか基本構想(案)の作成を実施。	水産商工課
		実績値	—	検討委員会開催 1回 視察研修 4回	検討委員会開催 3回 打合せ1 回	検討委員会開催 3回 打合せ2 回	0		

《基本目標3》都市通勤圏にある自然豊かな地域性を生かしての人口減対策

数値目標

社会増：平成31年度 50人(平成26年度社会減74人)

平成27年度 -61人(転入：1,140人 転出：1,201人) 平成28年度 -195人(転入：1,065人 転出：1,260人) 平成29年度 -34人(転入：1,204人 転出：1,238人)

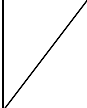
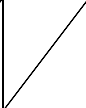
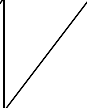
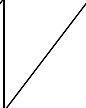
平成30年度 -90人(転入：1,212人 転出：1,302人) 平成31年度 -85人(転入：1,245人 転出：1,330人)

《具体的な施策と重要業績評価指標（K P I）》

(1) 移住・定住の促進

具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値	進捗管理						主な取組概要	担当課	
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	累計			
<PRイベントの実施> ・八重洲移住交流情報ガーデンや千葉市内等でのフェアの開催 ・イベント、物販の際の移住PR <お試し居住の実施> ・移住・定住希望者を対象とした生活体験の機会の提供 <相談窓口の設置> ・「いすみ暮らしサロン」等、移住・定住相談所の開設 <居住情報の提供> ・空き家バンクによる情報提供 <通勤・通学補助> ・転入者特急料金券購入補助金交付事業の実施 ・大学生、専門学校生への特急定期補助の検討 ・通勤者用駅駐車場の整備の検討 <住居補助> ・若者定住促進家賃補助金交付事業の実施	いすみ市への移住を具体的に検討している件数8件	重要業績評価指標 (K P I)	・年間10件 ・累計50件 (平成31年度)						・ふるさと帰郷フェア・JOIN移住交流地域おこしフェアへ参加し、いすみ市の知名度向上と移住希望者へのPRと相談の対応。 ・お試し居住では、施設を市が借り受け全6回実施。18件の応募があり、6組の利用実績があった。 ・市の窓口、メール、電話での相談が180件あり、いすみ暮らしサロン及び移住フェアでの相談並びに港の朝市移住相談ブースでの相談が54件。 ・転入した通勤者への特急料金券購入補助の交付者は6名、通学者への交付者は3名。 ・通勤通学用駐車場補助金について、交付者は5名。 ・空き家バンクへの登録物件は87件であり現在5件の物件について募集している。令和元年度は新規6件の登録物件があり、利用登録は29件。(令和2年2月末現在)	水産商工課	
		実績値 (単位：件)	移住(件)	26	24	28	46	48			172
		(相談者数 (件))	242	176	117	113	65	713			
具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値	進捗管理						主な取組概要	担当課	
<地域おこし協力隊>	委嘱人数0人	重要業績評価指標 (K P I)	累計25人 (平成31年度)						平成27年度から平成31年度までの間、地域おこし協力隊を累計32名委嘱。現在13名が活動している。星空観望会・撮影ツアーやインバウンドの推進、地場産品を活用した加工品の開発、有害鳥獣対策、いすみ鉄道を活用した地域の活性化などに取り組んでいる。これまでに任期終了者は19名(1年未満含む)。3年間の任期終了した10名の内、8名はいすみ市へ定住。市内で起業・就業している。	企画政策課	
		実績値 (単位：人)	10	5	5	11	1	32			

(2) 子育て支援

具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値	進捗管理					主な取組概要	担当課
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
<いすみ市子ども・子育て支援事業計画に基づく子育て支援> (主な事業) ・育児や家事等の支援を必要とする子育て家庭へのヘルパー派遣の実施 ・昼間保護者等のいない児童の放課後及び土曜日の預かり事業の実施 ・子どもが病気の際に自宅での保育が困難な場合の病児保育の実施 ・全保育所での午後7時までの延長保育の実施 ・一部保育所での正午から午後7時まで土曜延長保育の実施 ・第3子以降の保育料原則無料 ・4歳、5歳児の保育料5%減額 ・認定子ども園化の推進 ・予防接種費用助成の実施 ・1歳～4歳集団検診による歯科検診とフッ素塗付の無料化	いすみ市は子育てしやすい環境と感ずるか 66.5%が肯定的な評価 (「とてもそう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計)	重要業績評価指標 (K P I)	80%以上が肯定的な評価 (平成31年度)					【福祉課】 ・子育て家庭の精神的、肉体的負担の軽減を図るため子育てヘルパー派遣事業を実施。 ・対象者を小学校1年から6年生までとした放課後児童健全育成事業の実施。 ・病気の治療中又は病気の回復期のため他の児童と集団生活が困難な児童について、一時的に医療機関に預けることにより子育てと就労の両立を支援する病児保育事業の実施。 ・保育所事業については、全保育所において月曜日から金曜日まで午前7時から午後7時までの延長保育を実施、一部保育所では土曜延長保育として正午から午後7時まで実施。認定子ども園においては休日保育を実施。 ・認定子ども園については、平成30年4月より保育所型認定子ども園として開園。 ・子育て支援センター3か所において、乳幼児親子が集える場を提供し、親子交流や育児相談を実施。 【健康高齢者支援課】 ・市独自で実施している任意予防接種の全額費用助成の実施。「ロタワクチン」「おたふくかぜワクチン」について、現在も継続して実施している。また平成30年度より定期予防接種の4種混合を4回完了している方にボロオ任意追加接種を開始した。 ・子どもの歯科検診とフッ素塗布について、令和元年度より1歳6か月から3歳までの子どもを対象に現在も継続して実施している。令和元年度平均受診率は75.4%	福祉課 健康高齢者支援課
		実績値	—	74.4%が肯定的な評価 令和元年度(平成31年度)アンケート調査による実績					
具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値	進捗管理					主な取組概要	担当課
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
<出産奨励給付金> ・新生児のための紙おむつ、ミルク、チャイルドシート購入支援	—	重要業績評価指標 (K P I)	アンケートによる事業達成度80% (平成27年度)					少子化と人口減対策として、新生児に対し出産祝金を支給することにより、新生児の将来における健全な家族構成及び市の人口増に伴う活性化に寄与することを目的として、紙おむつ、ミルク、チャイルドシート等の購入に係る経費に対して補助を実施した。(平成27年度事業終了)	福祉課
		実績値 (単位：%)	100						

(3) 高齢者支援

具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値		進捗管理					主な取組概要	担当課
				27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
<高齢者福祉の充実> ・高齢者が生き生きとした生活が送れ、必要に応じた医療サービスを受けられる体制の構築	—	重要業績評価指標 (K P I)		「(仮称)いすみ市版プラチナタウン構想」の検討 (平成31年度まで)					住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築に向けた、医療・介護連携に係る広域連携会議による協議を実施している。	健康高齢者支援課
		実績値		検討	検討	検討	検討	検討		
具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値		進捗管理					主な取組概要	担当課
				27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
<地域の生活拠点づくり> ・高齢者の生活の利便性の確保のための、各種行政サービスや買い物等の拠点整備	—	重要業績評価指標 (K P I)		郵便局等との連携による、地域の生活拠点の整備3か所 (平成31年度まで)					平成27年度から、N P Oによる移動販売車を使用した買物支援事業(まごころ便)を、週5日市内5コースで実施していたが、利用者減少のため、平成31年2月より週4日市内4コースを回っている。 また、大原中央商店街のスーパー閉店に伴う買物弱者への対策として、令和元年10月から大原中央商店街を新たにコースに入れた。 ※市内4コースで市内全域を回っている。	健康高齢者支援課
		実績値	買物支援	・週5日 ・市内5 コースで 実施	・週5日 ・市内5 コースで 実施	・週5日 ・市内5 コースで 実施	・週4日 ・市内4 コースで 実施	・週4日 ・市内4 コースで 実施		

《基本目標4》豊かな自然環境、子育て支援の充実を発信しての地域の魅力の向上

数値目標

いすみ市に住み続けたいという住民の割合：平成31年度80%（平成24年度71.5%）

平成27年度—% 平成28年度—%（アンケート実施中） 平成29年度 70.3% 平成30年度—% 平成31年度—%

《具体的な施策と重要業績評価指標（K P I）》

(1) 情報発信力の強化と効果的な発信

具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値		進捗管理						主な取組概要	担当課	
				27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	累計			
<PRイベントの実施> ・八重洲移住交流ガーデンや千葉市内等でのフェアの開催 ・イベント、物販の際の移住PR（再掲）	いすみ市への移住を具体的に検討している件数8件	重要業績評価指標（K P I）		・年間10件 ・累計50件（平成31年度）（再掲）						・ふるさと回帰フェア・JOIN移住交流地域おこしフェアへ参加し、いすみ市の知名度向上と移住希望者へのPRと相談の対応。	水産商工課	
		実績値	移住(件)	26	24	28	46	48	172			
			(相談者数(件))	242	176	117	113	65	713			
具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値		進捗管理						主な取組概要	担当課	
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	累計					
<子育て支援の充実を発信> ・いすみ市子ども・子育て支援事業計画に基づく子育てに関する情報発信（再掲）	いすみ市は子育てしやすい環境と感じるか66.5%が肯定的な評価（「とてもそう思う」と「どちらかといえばそう思う」の合計）	重要業績評価指標（K P I）		80%以上が肯定的な評価（平成31年度）（再掲）						・福祉・保健・教育など子育てに関する様々な情報をわかりやすくまとめた「子育てガイドブック」を配布。 ・ホームページを活用し子育て支援事業やイベント等の情報発信を実施。また、子育て支援事業ごとにチラシを作成し市内公共施設に掲示。	福祉課	
		実績値		—	74.4%が肯定的な評価 令和元年度（平成31年度）アンケート調査による実績							
具体的な施策	基準値 (平成25年度)	K P I ・実績値		進捗管理						主な取組概要	担当課	
		27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	累計					
<観光プロモーションの実施> ・旅行・交通事業者と連携したPR ・マスメディアへの情報提供	・全国自治体認知度ランキング779位 ・観光入込客数31.2万人	重要業績評価指標（K P I）		・認知度500位代（平成31年度） ・観光入込客数32.4万人（平成27年度）						・JR東日本企画千葉支店との連携により実施した旅行商品企画のPRと併せ、波の伊八彫刻をはじめとする文化財や港の朝市及びいすみ市の食材をPRすることにより、いすみ市産品の市場認知度向上やブランド力の向上を複合的に繋げることを目標に、JR東日本の首都圏主要駅びゅうプラザへ日帰り旅行パンフレットを掲出した。	オリンピック・観光課	
		実績値	認知度ランキング(位)	829	771	788	755	786				
			観光入込客数(万人)	40	38.3	41	45	47				

(2) 農水産物オーナー制度の実施と拡大

具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値	進捗管理					主な取組概要	担当課		
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			累計	
<農水産物オーナー制度> ・「いすみ米オーナー制度」の実施	・参加者 ・水田面積	重要業績評価指標 (K P I)	・参加者累計45組480人 (平成31年度) ・水田面積30ha (平成31年度)					いすみ米オーナー制度のP R、募集、情報発信を行い、田植え、除草、稲刈りまでの一連の作業の体験や、昼食で釜炊きしたいすみ米と田舎料理の提供について事業連携をした。	農林課		
		実績値	参加者数	15組62人	21組67人	27組152人	36組158人			40組137人	139組576人
			水田面積 (ha)	4.5	8.7	17.4	17.4			17.5	65.5ha
具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値	進捗管理					主な取組概要	担当課		
<農水産物オーナー制度> ・いすみ米以外のオーナー制度の実施	1品目	重要業績評価指標 (K P I)	累計5品目 (平成31年度)					いすみ米以外の農水産物のオーナー制度を実施している。30年度からは、梨、味噌のオーナー制を実施し、31年度より新たにゴマのオーナー制を開始。	農林課		
		実績値 (単位：品目)	—	1	0	0	1			2	

(3) ロケ誘致による地域の魅力発信と地域の魅力の再認識

具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値	進捗管理					主な取組概要	担当課
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
〈ロケーションサービスの実施〉	6件	重要業績評価指標 (K P I)	累計30件 (平成31年度)					<ul style="list-style-type: none"> 引き続き、制作者を対象としたロケハンツアーの実施や専用ホームページ、ロケ情報サイト、ロケ情報誌等への掲載、また、ロケツーリズム協議会でのシティーセールスなどで積極的にいすみ市の豊富な自然やグルメ、ロケ地の情報発信を行い、テレビ・映画等のロケ誘致を展開すると同時にロケ隊へのいすみ市産品を差入れしグルメの街“いすみ”のイメージ定着を図った。 PR換算効果 約151億3150万円 ※平成27年12月～令和元年12月まで 	オリンピック ・観光課
		実績値 (単位：件)	11	36	66	90	42		

(4) サーフィンを通じた地域の魅力向上

具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値	進捗管理					主な取組概要	担当課
			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度		
〈受入体制の整備〉 ・PRイベントにおけるサーフィンに関する情報発信の実施 ・「いすみ暮らしサロン」等の移住・定住相談所にサーフィンに関する窓口を設置 ・市内在住のサーフィン関係者との意見交換等による課題の抽出と施策の実施	—	重要業績評価指標 (K P I)	サーフィンをきっかけとする移住相談件数累計5件 (平成31年度)					【水産商工課】 ・いすみ暮らしサロン等で、ライフワークバランスとして趣味やサーフィンについての対応はしているが、サーフィンをきっかけとして、移住を考えている相談件数は0件。 【オリンピック観光課】 ・サーフィン事業者団体イベント(サーフタウンフェスタ)運営に対し補助を実施したほか、東京2020オリンピック・パラリンピック大会に対する機運の向上及び住民の関心を高めること等を目的として、県内外から相当数の参加者及び見学者の来訪が見込まれるサーフィン大会の開催を支援し、地域PR及びサーフスポットのPR等を実施した。	水産商工課 オリンピック ・観光課
		実績値 (単位：件)	0	1	0	0	0		

(5) 安全なくらしの確保

具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値		進捗管理					主な取組概要	担当課	
				27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			累計
<消防・防災対策の推進> ・各種ハザードマップの更新	—	重要業績評価指標 (K P I)		ハザードマップの更新 (平成31年度)					・ハザードマップは、千葉県が実施している土砂災害警戒区域の調査結果を踏まえ、定期的に修正を行っている。 なお、ホームページ上の情報は常に最新のデータに修正している。	危機管理課	
		実績値		—	—	—	—	—			—
具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値		進捗管理					主な取組概要	担当課	
				27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			累計
<消防・防災対策の推進> ・各種避難訓練の実施	避難訓練の実施 回数 年2回	重要業績評価指標 (K P I)		年2回					・いすみ市津波避難訓練 日時：R元.11.9（土）9:00～10:00 対象：市内全域（津波避難対象地域） 内容：津波緊急避難場所への避難訓練、 参加者数：避難者1,524人 関係団体等151人 計1,675人 参加機関：夷隅郡市広域消防本部、いすみ警察署、いすみ市内郵便局、 いすみ市消防団、各行政区 ※いすみ市土砂災害避難訓練は、R元.6.15（土）に予定していたが、 悪天候のため中止となった。	危機管理課	
		実績値 (単位：回)		2	2	2	2	1			—
具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値		進捗管理					主な取組概要	担当課	
				27年度	28年度	29年度	30年度	31年度			累計
<消防・防災対策の推進> ・消防団・自主防災組織の充実強化	消防団員定員数 に対する団員数 の率 97.9%	重要業績評価指標 (K P I)		・消防団員定員数に対する団員数の率 維持 (平成31年度) ・自主防災組織新結成組織数 4団体 (平成31年度)					・消防団 消防団員募集について、いすみ市ホームページに掲載するとともに、市役所庁舎において、ポスターの掲示、パンフレットの配布を行った。 ・自主防災組織 自主防災組織について、いすみ市ホームページに掲載するとともに、市役所庁舎においてパンフレットの配布を行った。 自主防災組織結成促進について、行政協力員会議において説明した。機会をいただければ行政区ごとに説明に何う旨を周知し、希望のあった行政区において、自主防災組織結成に向けた説明会を開催した。	危機管理課	
		実績値	団員数の率 (%)	97.9	97.4	95.9	91.6	91.9			—
			新結成組織 数(団体)	0	2	0	2	1			—

〈地方創生推進交付金事業〉

具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値		進捗管理			主な取組概要	担当課			
				29年度	30年度	31年度					
新しい「人の流れ」から「しごとの場」まで地域一体で創造する千葉創生事業	—	重要業績評価指標 (K P I)	K P I ①	地域しごと支援事業の利用者数 (人)			<p>○企業・起業家誘致活動業務委託 企業と協働し活動を行った。都内でPR交流イベント2回、2泊3日の合宿ローカル起業キャンプを通して、地域資源、地域の人とのつながり、起業準備、事業計画作り等を学ぶ場や、参加者で支え合うグループコーチングを全5回及び起業ワークを4回実施。今年度の集大成とし、地域住民で起業家を応援するローカル起業フォーラムを実施。事業の交流人口280名</p> <p>○空き家等資源発掘活用コーディネート業務委託 地方の暮らしや仕事に関心のある人をターゲットとし利用価値のある物件を紹介すると共に、いすみで仕事を作り暮らしている人をゲストスピーカーとして紹介する都内イベント1回、市内では活用できる空き家等を活用しチャレンジワークショップを開催。交流人口100人</p> <p>○起業家発掘及び情報発信業務委託 地域活動に興味、関心を持つ者が市内で活躍する市民等との交流を通じて感度の高い若者に普及しているSNSを用いて起業家を呼び込む新たな層に届けるため、都内でのワークショップ2回、市内で1泊2日のフィールドワークでは人・食の観点で取材を行い情報発信を実施。認知数2,000名</p>	水産商工課			
				200	200	200					
			K P I ②	空き公共施設等への進出企業数 (社)							
				16	16	16					
		K P I ③	起業家応援イベントの参加者数 (人)								
			2000	2500	2500						
		K P I ④	企業と市町村とのマッチング件数 (件)								
			100	100	100						
		実績値	K P I ①	0	0	0					
			K P I ②	2	1	2					
			K P I ③	273	348	3100					
			K P I ④	11	7	34					
具体的な施策	基準値 (平成26年度)	K P I ・実績値		進捗管理						主な取組概要	担当課
				1年度	2年度	3年度	4年度	5年度	6年度		
U I J ターンによる起業・就業者創出事業 (移住支援事業・地域しごとマッチング事業)	0	重要業績評価指標 (K P I)	K P I ①	本移住支援事業に基づく移住就業者数 (人)						<p>【移住支援】 移住支援金事業について、市のHPでの周知、転入手続き窓口への掲示や移住相談時において該当される方へ事業説明を実施。 支給額：1人世帯60万 2人以上世帯100万 負担割合：国1/2 県1/4 市1/4</p> <p>【マッチング支援】 千葉県地域しごとNAV Iの9月末リニューアルオープンに合わせて、移住支援金対象法人の登録を促すため直接事業者へ説明する機会や市のHP、広報誌等を活用し周知を図った。 県内事業者40社登録 市内事業者5社登録</p> <p>【起業支援】 千葉県主体事業として、市では新たに起業する方が県へ助成申請する際に、市の推薦書を併せて県へ提出。R元年度は、市の課題解決へと繋がる起業と判断し推薦書作成し1件提出。県より採択済。 負担割合：国1/2 県1/2</p>	水産商工課
				78	78	78	78	78	78		
			K P I ②	本移住支援事業に基づく移住起業家数 (人)							
				2	2	2	2	2	2		
		K P I ③	本移住支援事業に基づく起業家数 (人)								
			2	2	2	2	2	2			
		K P I ④	マッチングサイトに新たに掲載された求人数 (件)								
			120	80	80	80	80	80			
		実績値 (単位：回)	K P I ①	0							
			K P I ②	0							
			K P I ③	1							
			K P I ④	41							